

## 要請番号 (JL04825A05)

9

国連と世界銀行の  
連携を促す

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブータン	G151PCインストラクター	20~45 歳のみ	個別	新規	2年	・2025/3・2026/1・ 2026/2

### 【配属機関概要】

#### 1) 受入省庁名 (日本語)

エネルギー・天然資源省 森林公園局

#### 2) 配属機関名 (日本語)

ウゲンウォンチュク森林研究・研修所

#### 3) 任地 (ブータン県ラマイゲンパ) JICA事務所の所在地 (ティンブー市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 8.0 時間)

#### 4) 配属機関の規模・事業内容

配属機関は2004年、「ウゲンウォンチュク環境保護研究所」として設立された研究機関。ブータンの生物多様性や林業、生態系に関する研究などを担当している。2016年に「ウゲンウォンチュク森林研究・研修所」に改称された後、2023年に農業省からエネルギー・天然資源省に移管された。主な活動は、省庁職員向けの短期研修の実施、ネイチャーガイド資格を取るためのプログラムの提供、出版物やワークショップを通じた科学的知識の普及活動など。2025年2月現在、職員数は約44名(技術者37名、その他7名)。2017年~2019年まで、前身のウゲンウォンチュク環境保護研究所で隊員1名(環境教育)が活動していた。

### 【要請概要】

#### 1) 要請理由・背景

ウゲンウォンチュク森林研究・研修所の役割には、森林や動植物に関する研究、気候研究、人間と野生動物の衝突の緩和、持続可能な天然資源管理の促進などがある。急峻な山岳地帯や氷雪地帯、奥深い森林を有するブータンでは、GISやリモートセンサー、ドローン等を活用した調査が不可欠であり、これらのICT技術を使ったデータ収集・分析が進められている。しかし配属先には、収集したデータの活用やデータベースの整備について十分な知識・経験をもった人物が不足しており、配属先スタッフのICTに関する能力向上を支援するため、隊員が要請された。

#### 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先スタッフと協力しながら、下記の活動を行う

- 配属先が所有するデータベースの整備
- 配属先のウェブサイトやSNSの改善
- GISやドローン、リモートセンサーに関する指導
- 配属先スタッフへのICTの知識共有・技術移転

#### 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務机、プリンタ、GIS,リモートセンシング、ドローン、使用ソフトウェアはQGISやRなどのオープンソースソフトウェア

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

##### 【配属先同僚】

所長: 男性 50代 (博士)

カウンターパート: 男性 50代 (修士)

※配属先全体の人数は計44名

【活動対象者】  
配属先職員、学生15名、外部からの研究者など

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

## 【資格条件等】

[免許]： ( )

[性別]： ( ) 備考：

[学歴]： (大卒) 理工系 備考：同僚の学歴水準に合わせるため

[経験]： (実務経験) 5年以上 備考：実践力が求められるため

[参考情報]：

- ・ GIS・リモートセンサの知識が必須
- ・ 森林や環境保全に関する知見があると尚良い

### 任地での乗物利用の必要性

不要

## 【地域概況】

[気候]： (温暖冬季少雨気候) 気温： (-10～25℃位) [電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水道]： (安定)

## 【特記事項】

- ・ 任地での生活使用言語は英語もしくはゾンカ語。ゾンカ語については、現地訓練期間に語学研修を行う予定。
- ・ アパートは、配属先の敷地内にあるゲストハウスになる予定。
- ・ [ウゲンウォンチュク森林研究・研修所HP](#)